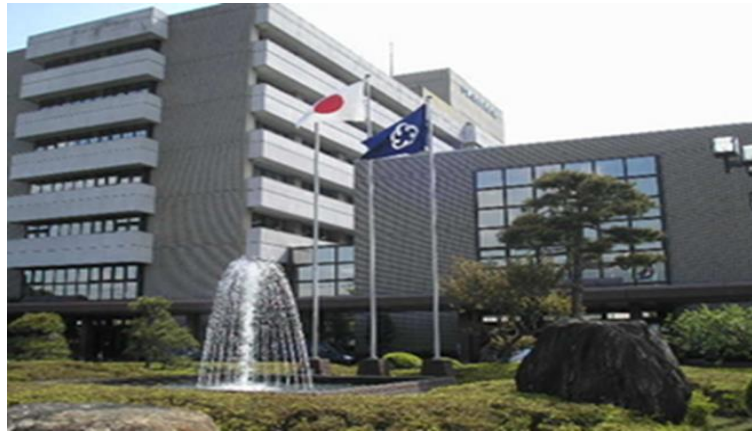


外来化学療法の実際



小田原市立病院
がん化学療法看護認定看護師
種市 亜澄

がん化学療法看護認定看護師とは・・・

- 役割

- がん化学療法薬の安全な取り扱いと適切な投与管理
- 副作用症状の緩和およびセルフケア支援

つまり

患者さんの治療選択など意思決定支援を行う。
抗がん剤治療を受ける患者さんにたいして、安全で確実な投与管理を行う。
副作用が少なくてすむよう、日常生活の上で注意することや、起きてしまった副作用を改善するように支援していく看護師です。

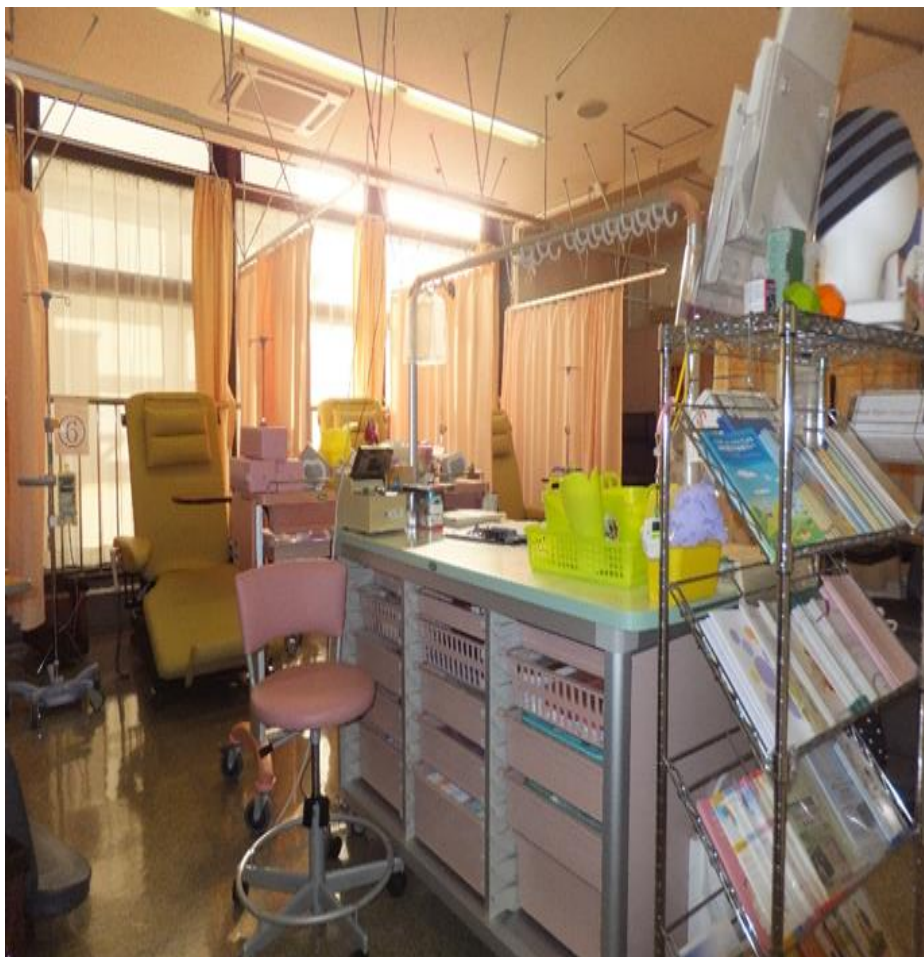
たとえば・・・

- 口内炎ができてしまった
 - うがい薬の指導
 - 食べやすい食事内容の紹介
- 吐き気の出やすい抗がん剤を使う時
 - 医師に吐き気止めを提案
 - それでもはきけがでてしまったら、吐き気の状態を聞き、効果がありそうな吐き気止めを医師に提案

などなど・・・

患者さんが少しでも苦痛が少なく、抗がん剤治療ができるよう活動しています

小田原市立病院 外来点滴治療室



リクライニングベット:9台
月～金:9時～17時
1日平均患者数:12名
看護師:2名

緊急時の対応

- 自宅療養中以下の症状があるときには病院に連絡を
 - 38.5℃以上の発熱があるとき
 - 吐き気が強く、水分もとれないとき
 - 下痢が1日4回以上（内服を飲んでも効果がない）のとき
 - 点滴をした場所が赤くなり、痛みが強いとき
 - 次の診察まで我慢できない症状があるとき



具合が悪くなった際の対応方法を家族と相談し、家のわかりやすいところにメモ書きを貼っておくと便利

緊急時・困ったときの連絡先

小田原市立病院 外来点滴治療室

[TEL:0465-34-3175](tel:0465-34-3175)

平日の8時30分から17時までにご連絡ください。

(休日・夜間は救急外来へご連絡ください。連絡時は、治療日と治療内容・いつから具合が悪いのかを伝えてください)



おわりに

- 納得して治療が受けられるよう、わからないことはそのままにせず、確認をすることが大切
- 抗がん剤治療を受けながら、安全・安楽に日常生活を普段通りに過ごすためには、からだのケアと、心のケアを自分で行っていくことが大切
- からだのケアとしては、副作用とうまく付き合っていくために、自分の副作用の出現時期・出方・程度・対処方法を把握していくこと
- 心のケアとしては、患者・家族ともに気持ちのつらさを感じていることが多く、その気持ちを患者・家族同士、医療者へ話をしていくこと、気分転換を取り入れていくことが大切